



須木庁舎だより 11月号

2020 NO. 143



呼吸を合わせて！



高鍋高等学校 VS 妻高等学校

編集発行／小林市須木庁舎地域振興課
〒886-0192 小林市須木中原1757番地 TEL. 0984-48-3130 FAX. 0984-48-2269
ホームページ PC <http://www.city.kobayashi.lg.jp>
携帯版 <http://www.city.kobayashi.lg.jp/i/>

高校生新人ボート大会



10月17日(土)、18日(日)に小野湖(綾南ダム)特設会場で「令和2年度宮崎県高等学校新人総合体育大会第47回ボート競技大会」兼「第32回全国高等学校選抜競艇大会宮崎県予選」が開催されました。土曜日はあいにくの雨でしたが、選手たちの力強いプレーに観客は大きな声援を送っていました。

すき栗inイオン都城



10月2日(金)から10月4日(日)の3日間、イオン都城早鈴店ですき栗フェアが開催されました。すき物産協会を中心に、野尻地区から玉光園と野尻加工センターからの参加もあり合計8店舗で、開催されました。

10月22日(木)から25日(日)はイオン宮崎店で、11月13日(金)から15日(日)にはイオン都城駅前店で物産販売が行われます。

果樹振興協議会が市長を訪問しました！



10月9日(金)、須木の果樹振興協議会が須木栗の紹介と今後の振興拡大のため、市長を訪問しました。令和元年は、すき特産に74戸の農家が51.5トンの栗を出荷しています。今年度のすき特産への出荷量は未定ですが、収穫量は60トンから70トンの見込みがあるそうです。

不法投棄が増えています！ ゴミは決められた場所へ！



最近、新軍谷トンネル内への不法投棄が相次いでいます。写真はトンネル内に捨てられていた生ゴミです。

トンネル内や道路は、ゴミ捨て場ではありません！ゴミは決められた日に、決められた場所へ捨てましょう。

お詫びと訂正

9月号で紹介した「ドリーム・ジャンボ学園が開催されました！」の記事の中で、講師の方のお名前を誤って掲載していました。正しくは「山下慎司」さんです。大変失礼しました。訂正してお詫びいたします。

須木区域の人口
R2. 10. 1日現在
人口
男 713人
女 808人
計 1,521人
世帯数 855世帯

著者・曾野綾子
発行・ポプラ社
【お問合せ】須木分館
☎四八二九五四



～一般書～
『新しい生活』
おすすめ本の紹介

コロナ禍をはじめ、思いもよらぬ苦難に人はどう立ち向かうべきか。曾野綾子氏の最新刊『新しい生活』は、先が見えない時代に自分なりの生きがいを見出すために読みたい一冊です。



須木分館の旬な情報や話題をお届けします。

～すき栗フェア開催！～



9月20日（日）、21日（祝）にすきむらんの大型テント内で、すき栗フェアが開催されました。消毒・検温のコロナ対策が実施され、テント内のブースも間隔を空けて設置されました。生栗や栗くり焼きには長い行列ができ、お客さまは須木でとれた栗商品を次々と購入していました。

小学校クラブ活動～SUP・カヤック体験～



9月28日（月）、小野湖で須木小学校4・5・6年生17名がクラブ活動としてSUP・カヤック体験を行いました。恵まれた天候のなか、小野湖の大自然に児童たちの楽しそうな歓声が響いていました。

自然を満喫～第1回小林フットパス体験会～



9月27日（日）、西諸県ブロック運営会議実行委員会主催によるフットパス体験会が開催されました。Foot（フット）Path（パス）は昔からある、ありのままの風景を楽しみながら小道を歩くことを意味します。

池井中河間区長の案内のもと須木中原から中河間までの約4キロのウォーキングで汗を流しました。その後西道農園へ向かって栗拾いを楽しみ、中河間女子会の皆さんの手作りお弁当をいただきました。

人吉の中学校へ寄付金贈呈式



10月9日（金）、令和2年7月豪雨の被害を受けた熊本県の人吉第2中学校生徒会へ、須木中学校生徒会から寄付金の贈呈式が行われました。オンラインでの贈呈式は目録の贈呈が行われたあと、生徒同士の交流会へ移りました。お互いの学校のことや地域のことなどの質問に、笑い声が響く楽しい時間を過ごしていました。

～令和2年度西諸県地区中学校英語暗唱・弁論大会～



9月25日（金）、須木総合ふるさとセンターで「令和2年度西諸県地区中学校英語暗唱・弁論大会」が行われ、須木地区からは暗唱の部に小牧勝利君と齋藤恭吾君が、弁論の部には片地和奏さんと花牟禮美紅さんが出場しました。

大勢の観客の前で堂々と発表した4人は「初めての参加で緊張するかと思ったが気を楽にしてステージに立つことができた」「表現の差をつけることが大変だった」「普段使わない英語を覚えることは大変だったが今までで最高の発表ができた」「緊張したが練習のすべてを出し切ることができた」と笑顔で話していました。

閉会行事では受賞者の表彰も行われ、小牧君が6位、花牟禮さんが4位に入賞しました。

音楽で笑顔を！三味線演奏会
～JA女性部～



10月9日（金）、ふるさとセンターのホールで行われました。昨今のコロナ禍に伴い、思うような女性部活動が行えない状況の中、今回は農繁期の忙しい時期ではありましたが、音楽健康講座と称しまして、沖縄三線(さんしん)の「中園より子氏」を講師に招き、参加者40名と一緒に歌と踊りもあり盛り上がりました。三線(さんしん)は三味線とは奏でる音色が違い、より一層魅了させられたのではないのでしょうか。その後は豪華賞品が当たる抽選会や、須木音頭などの手踊りもあり、女性部の皆さんも満足げな様子でした。



小中学生が作った標語の
のぼりを掲げています

10月13日（火）の宮崎日日新聞で、小林市の青少年育成市民会議須木支部が須木小中学生から標語を募集し、入賞した4種類の標語ののぼりが紹介されました。最優秀賞の須木中学校3年生の黒木里海さんののぼりは、須木庁舎1階正面玄関に掲げられています。